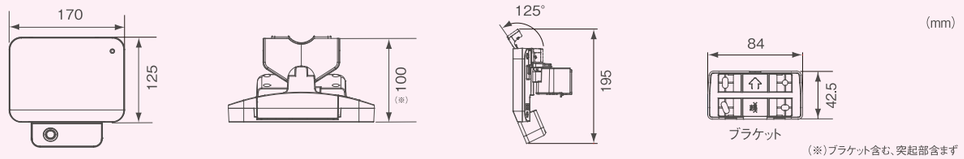
シルエット見守りセンサ WOS-321

寸法



(mm)

(※)ブラケット含む、突起部含まず

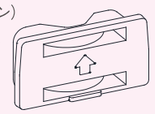
仕様

電源	電源供給:専用ACアダプタ 電源電圧:AC100V±10V　50/60Hz 消費電力:AC100V時最大7W 電源供給:PoE スイッチ:PoE+ IEEE802.3at(クラス4)以上 LAN ケーブル:カテゴリ5e 以上 消費電力:最大24W
周囲温度 / 周囲湿度	0℃～40℃ / 80%RH以下(結露しないこと)
使用環境 / 使用形態	屋内 / 24時間連続運転
通信	《有線LAN》 通信速度:10Mbps/100Mbps/1000Mbps 数量:1ポート 《無線LAN》 無線規格:IEEE802.11a/b/g/n/ac　2.4GHz/5GHz帯 通信距離:見通せる場所で100m 《Bluetooth無線》 無線規格:Bluetooth V4.2 通信距離:およそ10m(見通し距離)

汎用入力	2点(無電圧接点入力　ループ抵抗:300Ω以下)
汎用出力	4点(AC/DC　30V　0.1A　1a/1b設定可)
取付方法	壁面設置方式/自立型ポール設置方式(自立型ポールΦ30～45mm)
寸法	125(H)×170(W)×100(D)mm
質量	約440g(ACアダプタ含まず)
材質	PC/ABS樹脂　UL94V-0
同梱品	本体、設置マニュアル、保証書、ブラケット、ブラケットキャップ、ケーブルクリップ ACアダプタ、microSDカード(microSDHC、本体に装着済み)
機器:OS種別 (シルエット見守りモニタ)	《Windows》 Windows10(32bit/64bit)Windows11(64bit) CPU:Intel® Core™ i3 プロセッサー 2GHz相当以上 メモリ:32bitは2GB以上、64bitは4GB以上 表示解像度:1024×768以上 表示色数:16bit color以上 HDD:空き容量100MB以上 《Android》 Android 6.0以降 《iOS》 iOS 13.0以降

■クランプパーツ(オプション)

自立型ポールを使用して設置する場合、別途クランプパーツをご用意ください。



クランプパーツ
結束バンド×2本
すべり止めシート×1枚
付属

※ ご注意下さい

・自立型ポールは、直径30～45mm内のポールをご用意下さい。
・自立型ポールへの設置は手すりと間違えて力を加えた時に外れて入居者の怪我に繋がる事が考えられます。可能な限り壁面への設置をお願い致します。
・ポールの転倒等によって生じた障害等に関して、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。

■2.4GHz 機器使用上の注意事項

本装置は 2.4GHz 帯の周波数帯を使用します。この機器の周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)、ならびにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

①この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
②万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、弊社各営業所へご連絡いただき、混信回避のための処置など(例えば、パーティションの設置など)についてご相談ください。
③その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、弊社各営業所へお問い合わせください。

無線 LAN

2.4DS/OF4

この装置は2.4GHz周波数帯を使用するDSSSとOFDM変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約40mであることを意味します。

Bluetooth

2.4FH4/XX8

本装置は2.4GHz帯を使用するFH-SS変調方式とその他の方式を採用した無線設備で、FH4は与干渉距離は約40m以下であることを意味し、XX8は与干渉距離は約80m以下であることを意味します。

■5GHz 機器使用上の注意事項

5.2/5.3GHz帯無線LANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。
本装置が使用するチャンネルは以下の通りです。

IEEE802.11b/g/n				
IEEE802.11a/n/ac				
J52	W52	W53	W56	

W52(5.2GHz 帯 /36、40、44、48ch)
W53(5.3GHz 帯 /52、56、60、64ch)
W56(5.6GHz 帯 /100、104、108、112、116、120、124、128、132、136、140ch)

● Windows10、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。● Intel®は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。●Androidは、Google Inc.の商標または登録商標です。　●全てのAndroid™端末において、動作を保証しているわけではありません。● iOS商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。　● microSDHC™は、SD-3C、LCC の商標または登録商標です。

介護の現場における安心安全をご提供する防犯機器も取り扱っております。

防犯カメラシステム

● カメラ映像で施設の安全管理をサポート

入退室管理システム

● 介護職員の安心な出入管理に

その他、心配事やお困りごとがありましたらご相談ください。

⚠ 安全に関するご注意

製品を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ず「設置・運用マニュアル」をよくお読みください。

○本カタログに掲載している機器は医療用機器、人身事故防止用機器ではありません。人身事故の被害、盗難等の損害、偶発的な故障や停電等による損害については責任を負いかねますのでご了承ください。
○外観および仕様については、改良のため予告無く変更することがありますのでご了承ください。
○カタログと実際の製品の色については、印刷の関係で多少異なる場合もあります。

KiNG SECURITY キング通信工業株式会社
本　　社　〒158-0092 東京都世田谷区野毛2-6-6　☎03(3705)8111
横浜テクノセンター　〒225-0014 横浜市青葉区荏田西1-10-1　☎045(972)5381

お問い合わせ先
東京営業部
営業第一課　☎03(3705)8115
市場開発課　☎03(3705)8110
大 阪 支 店　☎06(6763)0081
福 岡 支 店　☎092(441)5781
札幌営業所　☎011(807)9681
仙台営業所　☎022(291)0881
名古屋営業所　☎052(934)0381

ISO 9001 JQA-QM6580

https://www.king-tsushin.co.jp

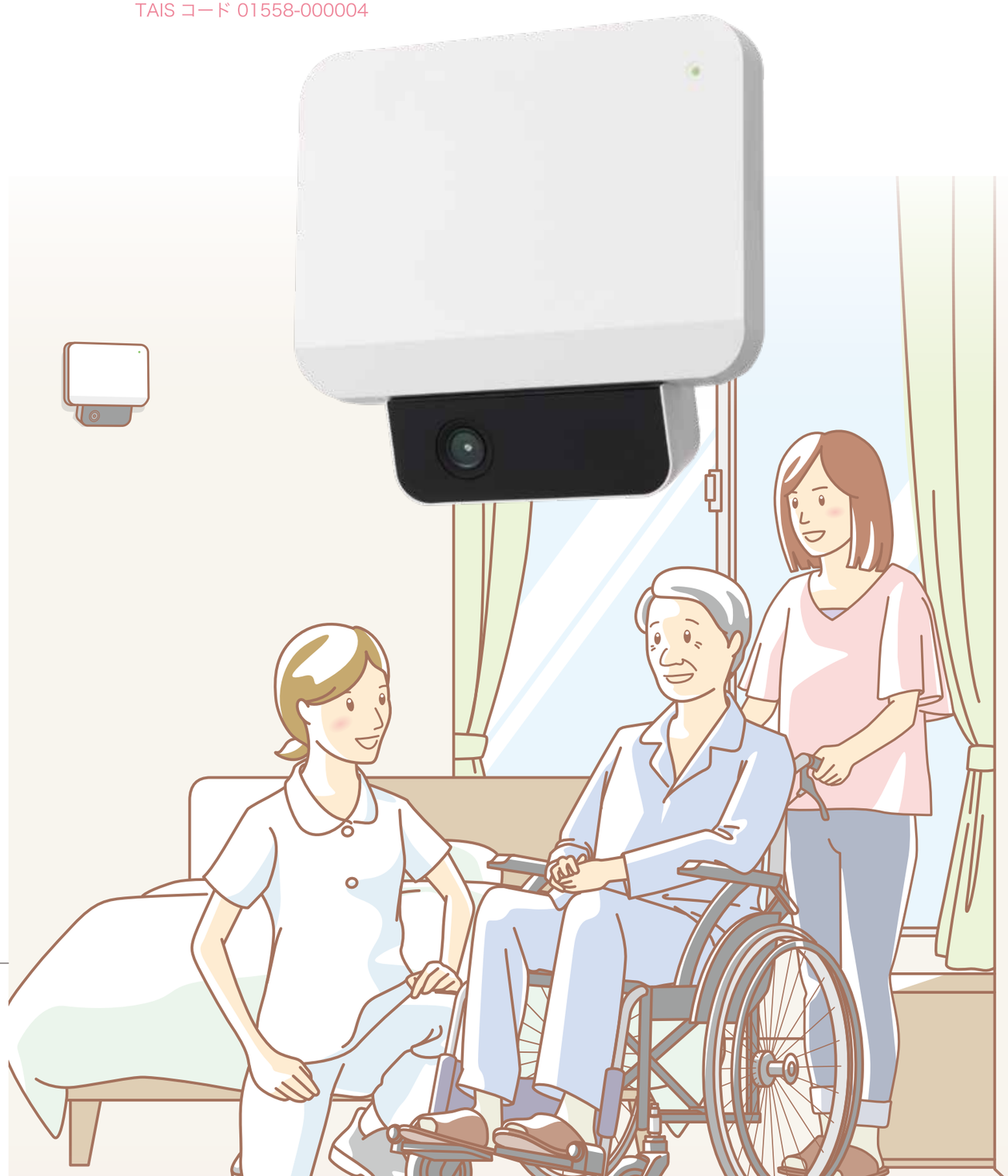
第2版　2212(IS)

KiNG SECURITY

シルエット動画で動きを見守り、福祉・医療現場の負担を軽減します。

シルエット見守りセンサ

TAIS コード 01558-000004

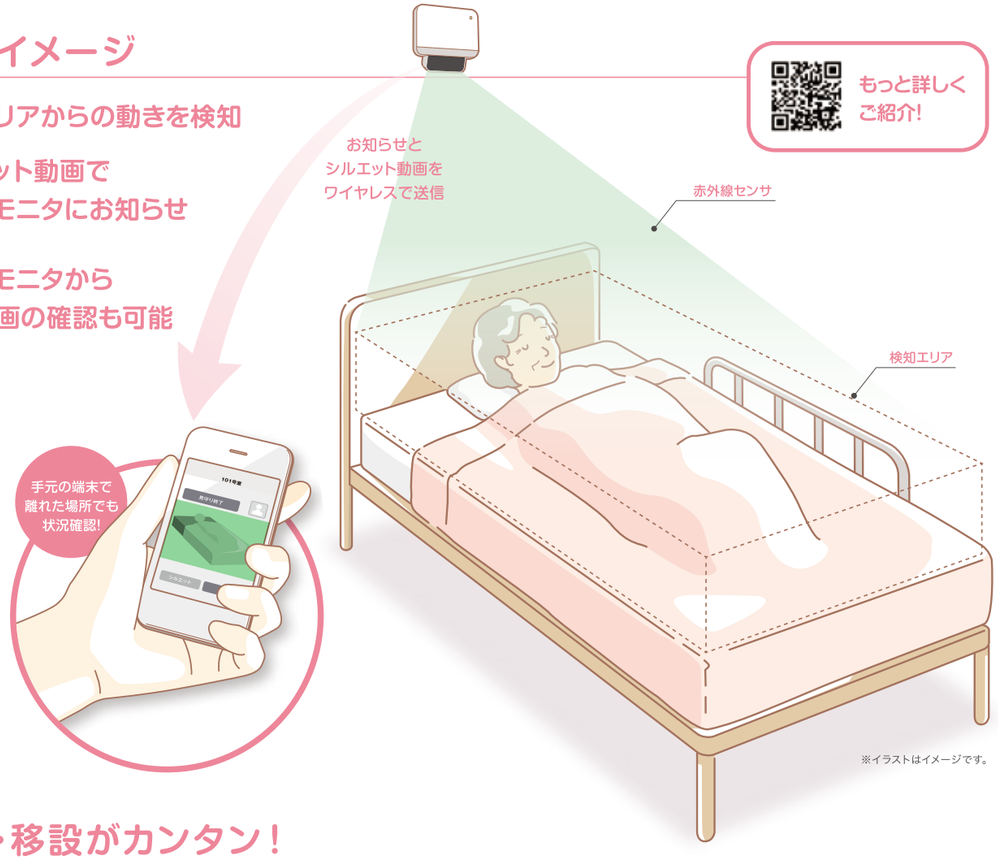


入居者の動きをシルエット動画で判別すること　で、徘徊や転倒などの事故を未然に防ぎます。

導入イメージ

- ✓検知エリアからの動きを検知
- ✓シルエット動画で
  見守りモニタにお知らせ
- ✓見守りモニタから
  録画動画の確認も可能

もっと詳しく
ご紹介!



※イラストはイメージです。

設置・移設がカンタン!

見守りたい場所にブラケット（取付具）を設置していただくだけで、見守り場所を簡単に移設ができます。

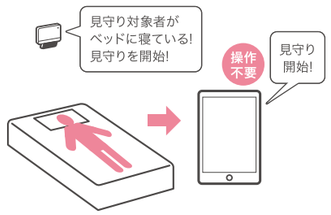
機械操作をより簡単に、便利な3機能がついています

毎回の見守りモニタ操作が大変!

「自動見守り開始設定」

見守りモニタの操作を減らしたい。見守り対象者がベッドにいるときは必ず見守り開始をしたい。
（時間見守りも設定可能）

自動見守り設定をすると、センサが見守り対象者がいることを判断し、自動で見守り開始します。手動での見守り開始操作が不要です。

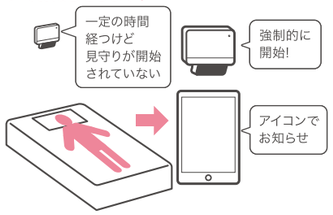


見守り開始操作を忘れそう!

「見守り開始忘れ防止設定」

見守り開始操作を忘れないか心配。見守り操作を忘れていたときに知らせてほしい、または自動で開始してほしい。

見守り開始を忘れていたときに、センサが自動的に見守りを開始、または見守りモニタのアイコンでお知らせします。

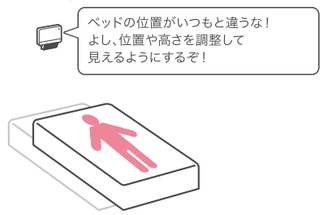


ベッドがずれても大丈夫!

「ベッド追従設定」

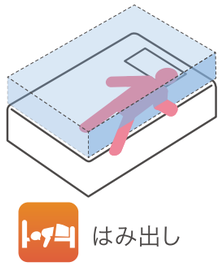
ベッドの位置がずれたり、ベッドの高さを変更した時に見守りセンサがベッドを見つけて見守りエリアの位置や高さを調整します。

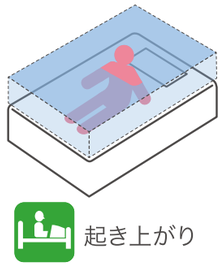
入居者のベッドを移動して戻って来た時にベッド位置の設定を再設定することなくご利用いただけます。

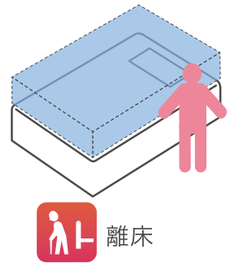


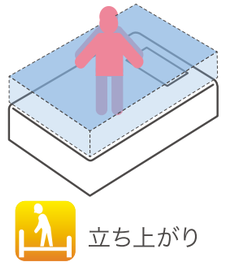
6つの動きを判別してお知らせ

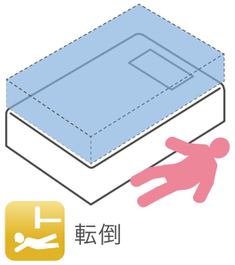
入居者の動きを「はみ出し」、「起き上がり」、「離床」、「立ち上がり」、「転倒」、「体動なし」と段階を判別してお知らせします。
それぞれ見守りモニタに表示されるアイコンが異なり通知音楽が選べますので直感的な判断が行えます。

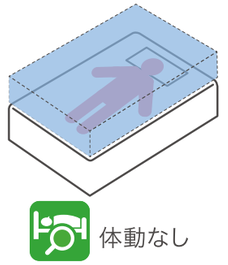

はみ出し


起き上がり


離床

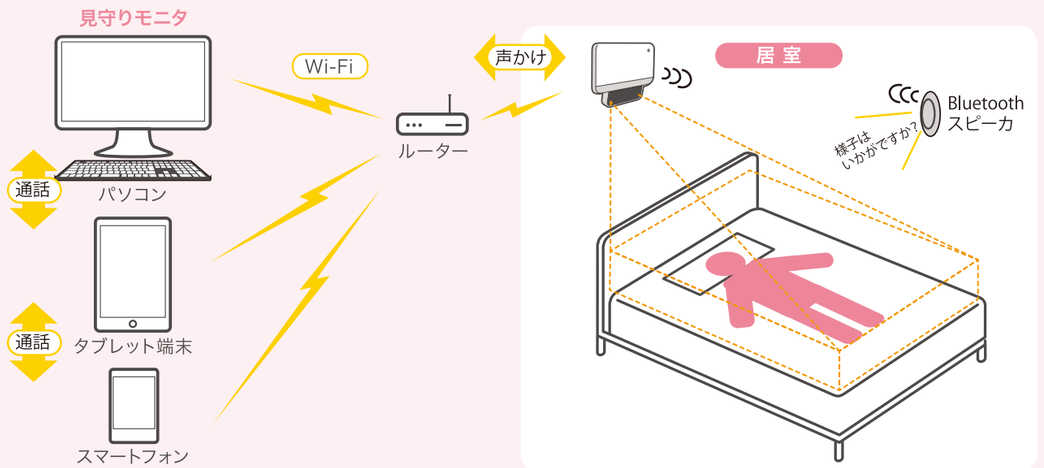

立ち上がり


転倒


体動なし

システム構成イメージ

施 設



※見守りモニタは見守りセンサ用のアプリケーションです。
※見守りモニタは最大16台まで設定できます。サーバーは不要です。
※シルエット動画を同時に表示できる見守りモニタは最大3台です。

※最大48台までシルエット見守りセンサを設定できます。
※Wi-FiはSSIDと暗号化キーで部外者がアクセスすることはできません。

離れた場所からシルエット動画で様子を確　認、動き検知時の前後の映像も記録します

動きを検知したら端末にお知らせ、離れた場所から入居者の様子を確認できます

シルエット見守りセンサは、見守りモニタに入居者の動きに合わせてお知らせします。アイコンをタップすると
3Dセンサから作られたシルエット動画で、部屋の明るさに関わらず入居者の様子がリアルタイムで確認できます。
検知以外の時も入居者や部屋の様子がシルエット動画で確認できますので、
プライバシーを損ねることなくお声がけができます。

見守り中の画面表示

お知らせ音とアイコンの変化で検知をお知らせします。

をタップするとシルエット動画が表示されます。

徘徊・転倒リスクの未然防止として

「入居者の介助中に急なアラームが・・・どうすれば良いの？」
シルエット見守りセンサでは、シルエット画像で他の入居者の様子が確認できるので、
いつもの寝返りなのか、それとも今すぐ介助が必要なのかを手元で判断することができます。
入居者の徘徊・転倒リスクに繋がる行動の前に、適切な介助が行えます。

起き上がり

ベッドから起き上がった時にお知らせします。

はみ出し

顔や手、足などがベッドからはみ出した時にお知らせします。

離床

入居者の離床（ベッドにいない状態）をお知らせします。

検知内容とシルエット動画で記録を残します

いつ、どこで、何があったのか、実際に起こった事象を、お知らせ後の様子だけでなく、
お知らせ前の様子もシルエット動画で記録を残します。
職員同士での情報共有やご家族への説明時にも役立ちます。
保存容量8GBのSDカードで、履歴時間15秒の場合は約13,500件、
履歴時間60秒の場合は約3,400件の保存が可能です。

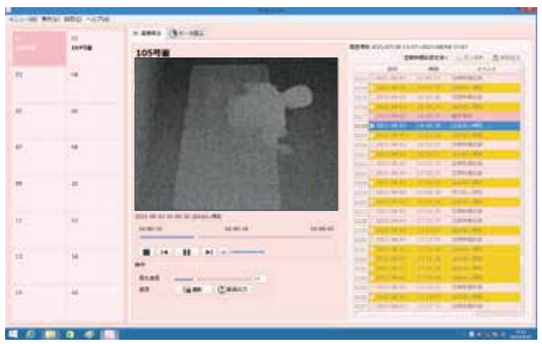
※録画される画像の内容によって、保存できる件数は変動します。
※履歴時間は、15秒、30秒、60秒、120秒、180秒から選択できます。

画面が切り替わりシルエット動画を再生

動画データの蓄積・分析ソフト　WOS-DSS　WOS-Chart（別売りソフトウェア）

入居者、入院患者の動き・生活リズムを見える化することで、個別ケアプランの作成など自立支援に繋がるADL改善活動を活発化することができます。

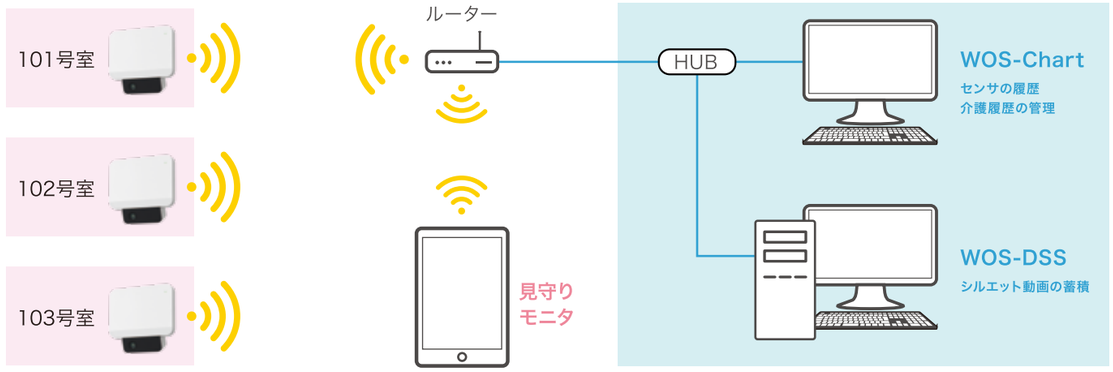
WOS-DSS：複数の見守りセンサから取得したシルエット動画・履歴をPCに蓄積
WOS-Chart：PCに蓄積されたシルエット動画の再生・履歴グラフ化



気になる動きや時間帯のシルエット画像を高速再生することができます

❶入居者の生活パターンを円グラフで表示
❷手元の端末から介助履歴をスタンプ選択で入力、介助記録を簡単に作成できます

システム構築イメージ



WOS-DSS仕様	
OS	Windows8.1（32bit/64bit）Windows10（32bit/64bit）Windows11（64bit）
CPU	Intel® Core i3 プロセッサー3GHz同等以上　※6世代以降（Core i3-6xxx以降）
メモリ	32bit：4GB以上　64bit：8GB以上
ハードディスク空き容量	センサ1台につき1ヶ月あたり：50GB以上　※例：センサ16台で3ヶ月使用する場合に必要な空き容量　16×50×3=2400GB（2.4TB）以上
USBポート	USB認証キー接続時に使用

WOS-Chart仕様	
OS	Windows8.1（32bit/64bit）Windows10（32bit/64bit）Windows11（64bit）
CPU	Intel® Core i3 プロセッサー3GHz同等以上　※3世代以降（Core i3-3xxx以降）
メモリ	32bit：4GB以上　64bit：8GB以上
ハードディスク空き容量	10GB以上
表示解像度	1600×900以上
表示色数	16bit Color以上

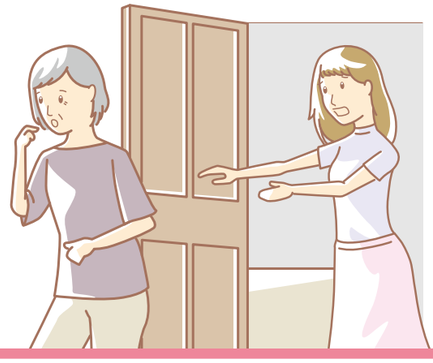
こんな困りごとが解決できます

介護施設

- 夜間、居室や廊下の徘徊を防ぎたい
- ベッドから床に立ち上がると転倒するリスクを未然に防ぎたい
- 職員による訪室・巡回時しか事故を発見できない、事故の原因が分からない

障害者支援施設

- 高齢化による身体機能の低下、転倒リスクが高くなった利用者を見守りたい
- 他の利用者の部屋に入る、徘徊を未然に防ぎたい
- 利用者一人でトイレを利用することを防ぎたい

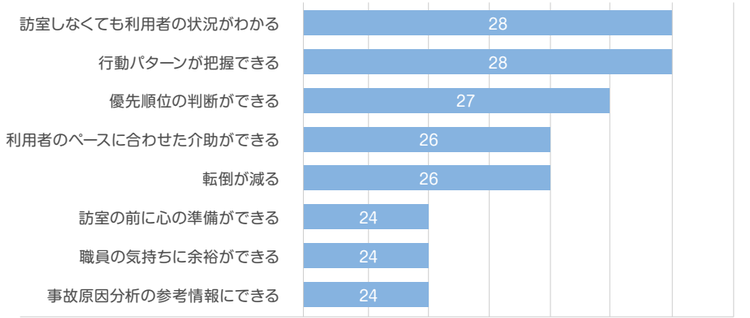


病院施設

- 高齢者や認知症の患者様、神経疾患のある患者様を見守りたい
- 「ナースを呼ぶと、迷惑をかける」と思い、遠慮して自力で移動する患者様を見守りたい（自力で移動すると危ない方）

見守りセンサ　導入効果

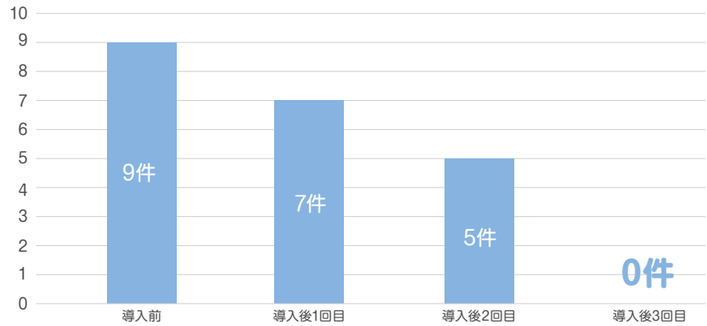
施設業務・職員の変化



単位：施設（30）

見守り機器の活用により、「職員の変化」において、「訪室しなくても利用者の状況が分かる」「行動パターンが把握できる」等の回答傾向にあった。
※「機器導入による施設業務・職員、利用者の生活の変化」より一部抜粋（導入後2回目）

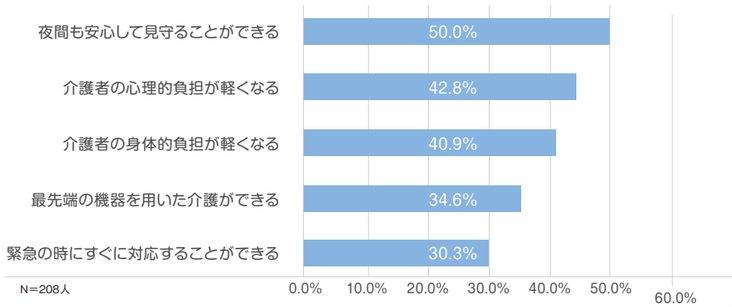
ヒヤリハット・介護事故件数の変化



単位：件数　N＝75人

見守り機器導入後、ヒヤリハット・介護事故数は0に減少した。
※「導入前」から「導入後3回目」まで、各実証研修期間（3週間）におけるヒヤリハット・介護事故件数（17時から翌9時）

見守り機器を活用した職員による評価



※「見守り機器導入後の三回目の調査で、機器を活用した職員に対する聞き取り調査結果」より抜粋

厚生労働省　老健局高齢者支援課「介護ロボットの導入支援及び導入効果実証研究事業事業実施報告書」（平成30年3月）より抜粋